

実績値は単位未満切り捨て。前年同期比等の百分率は四捨五入。

2011年5月20日
ソニー生命保険株式会社

2011年3月期決算案発表 共通質問

契約の状況等

		2010年3月期	2010年9月期	2011年3月期
新契約年換算保険料	(百万円)	68,780 (11.5%)	34,958 (9.1%)	71,230 (3.6%)
うち第三分野	(百万円)	16,264 (21.0%)	7,970 (3.3%)	16,679 (2.6%)
保有契約年換算保険料	(百万円)	573,331 (4.6%)	589,653 (5.6%)	604,793 (5.5%)
うち第三分野	(百万円)	133,023 (5.0%)	136,668 (5.4%)	140,776 (5.8%)
保険料等収入	(百万円)	700,101 (5.8%)	371,040 (9.3%)	770,330 (10.0%)
うち個人保険分野	(百万円)	691,083 (5.7%)	366,449 (9.4%)	761,420 (10.2%)
うち団体保険分野	(百万円)	7,084 (0.3%)	3,569 (0.9%)	6,838 (3.5%)
新契約高	(百万円)	4,049,237 (4.5%)	2,068,484 (13.7%)	4,199,024 (3.7%)
保有契約高	(百万円)	33,470,762 (2.9%)	34,118,527 (3.7%)	34,748,531 (3.8%)
解約・失効高	(百万円)	2,342,465 (9.7%)	1,039,201 (2.0%)	2,143,629 (8.5%)
解約・失効率	(%)	7.21 (0.42ポイント上昇)	3.11 (0.16ポイント低下)	6.41 (0.8ポイント低下)

*保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険。

*()内は前年同期比増減率(解約・失効率は前年同期比増減ポイント)。

*解約・失効は、復活契約を失効と相殺せずに算出。

*保険料等収入は損益計算書ベース。

*保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金、団体保険分野は団体保険＋団体年金＋医療保障保険(団体型)の合計保険料。

*年換算保険料の対象は個人保険と個人年金。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。

資産の状況等

		2010年3月期	2010年9月期	2011年3月期
総資産	(百万円)	4,286,540 (12.5%)	4,487,870 (11.0%)	4,723,332 (10.2%)
実質資産負債差額	(億円)	5,634 (5.8%)	8,544 (51.6%)	6,069 (7.7%)
実質資産負債差額／一般勘定資産	(%)	14.4 (0.7ポイント低下)	20.7 (5.5ポイント上昇)	14.0 (0.4ポイント低下)
ソルベンシー・マージン比率	(%)	2,637.3 (576.8ポイント上昇)	2,992.8 (559.0ポイント上昇)	2,900.1 (262.8ポイント上昇)
新基準によるソルベンシー・マージン比率	(%)	-	-	1,720.0

*()内は前年同期比増減率(実質資産負債差額／一般勘定資産およびソルベンシー・マージン比率は増減ポイント)。

基礎利益・逆ざや・利回り等

		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期予想
基礎利益	(百万円)	64,517 (69.8%)	56,295 (12.7%)	やや増加

*()内は前年同期比増減率。

		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期予想
逆ざや額	(億円)	115 (98)	63 (52)	減少

*()内は前年同期比増減実績。

		2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期予想
基礎利益上の運用収支等の利回り	%	2.17	2.26	横ばい
運用利回り(一般勘定)	%	2.54	2.68	低下
平均予定利率	%	2.51	2.43	低下

準備金

		2010年3月末	2010年9月末	2011年3月末
責任準備金(除く危険準備金)	(百万円)	3,937,113 (390,228)	4,113,398 (373,053)	4,319,924 (382,811)
うち一般勘定(除く危険準備金)	(百万円)	3,573,675 (295,170)	3,753,982 (337,542)	3,932,486 (358,810)
うち特別勘定(除く危険準備金)	(百万円)	363,437 (95,058)	359,415 (35,510)	387,438 (24,000)
価格変動準備金	(百万円)	9,637 (5,984)	13,068 (6,688)	16,768 (7,131)
危険準備金	(百万円)	48,497 (3,005)	50,162 (3,210)	51,559 (3,062)
うち危険準備金	(百万円)	17,869 (652)	18,311 (814)	18,754 (884)
うち危険準備金	(百万円)	15,133 (153)	15,230 (199)	15,311 (177)
うち危険準備金	(百万円)	10,489 (2,018)	11,480 (2,008)	12,235 (1,745)
うち危険準備金	(百万円)	5,004 (181)	5,139 (188)	5,258 (254)
危険準備積立金	(百万円)	- (-)	- (-)	- (-)
価格変動積立金	(百万円)	- (-)	- (-)	- (-)

*()内は前年同期比増減実績。

含み損益

		2010年3月末	2010年9月末	2011年3月末
有価証券	(百万円)	19,947 (30,957)	276,665 (219,851)	2,077 (17,870)
うち国内株式	(百万円)	10,459 (9,037)	1,142 (6,653)	3,849 (6,609)
うち国内債券	(百万円)	37 (53,822)	269,266 (221,993)	6,505 (6,542)
うち外国証券	(百万円)	7,853 (11,658)	6,083 (5,285)	3,957 (3,895)
不動産	(百万円)	11,072 (15,965)	11,812 (16,280)	9,392 (1,679)

*有価証券の含み損益は、有価証券のうち時価のあるものについて、満期保有目的の債券の差損益およびその他有価証券評価差額の合計値を記載。

また、有価証券含み損益については、金銭の信託内の有価証券を含んでおります。

*不動産の含み損益は国内不動産(含む借地権)を対象とし、再評価後の水準を記載しています。

*()内は前年同期比増減実績。

運用実績と計画

		2010年度実績	2011年度計画
国内株式	(百万円)	58,355 (10,608)	横ばい
国内債券	(百万円)	3,749,943 (454,587)	増加
外国株等	(百万円)	26,450 (5,299)	横ばい
外国債券	(百万円)	48,260 (9,582)	横ばい
不動産	(百万円)	81,430 (6,410)	横ばい

* ()内は前年同期比増減実績。

資産の含み損益がゼロになる水準(11年3月末時点)

		2011年3月末
日経平均株価	(円)	8,988
TOPIX	(ポイント)	801
国内債券	(%)	1.4
外国証券	(円)	101

* 株式は日経平均およびTOPIXにフル連動させ、株式の評価基準にあわせて算出。

* 国内債券は10年新発国債利回り換算し、小数点第一位まで算出。

* 外国証券はドル円換算にて算出。

2012年3月期の業績見通し

		2012年3月期予想
保険料等収入	(百万円)	増加
保有契約年換算保険料	(百万円)	増加
保有契約高	(百万円)	増加

銀行との資本持ち合いについて

銀行からの抛出現

		総額
基金(株式)に対する抛出現	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

* 銀行からの抛出現の劣後ローン等は、劣後ローン及び劣後債。

* 銀行からの抛出現の株式は3月末の時価。

銀行への抛出現

		総額
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	該当なし
劣後ローン等	(百万円)	該当なし

* 基金抛出現者以外の金額も含む。

* 銀行への抛出現の保有している株式には、優先株を含む(各行・グループの海外現法への出資は除く)。

* 銀行への抛出現の劣後ローン等は、劣後ローン、劣後債及び優先出資証券。

社員数

		2010年3月末	2010年9月末	2011年3月末
営業社員	(人)	4,517 (3.6%)	4,510 (1.6%)	4,523 (0.1%)
内勤社員	(人)	1,318 (6.5%)	1,359 (4.4%)	1,398 (6.1%)

* ()内は前年同期比増減率。

銀行窓販の状況

			2010年3月期	2011年3月期
変額年金保険	新契約件数	(件)	7 (22.2%)	1 (85.7%)
	金額(収入保険料)	(百万円)	7 (74.1%)	0 (98.1%)
定額年金保険	新契約件数	(件)	29 (31.0%)	34 (17.2%)
	金額(収入保険料)	(百万円)	31 (46.4%)	87 (177.0%)

* ソニーライフ・エイゴン生命の変額年金保険は含まれておりません。

* ()内は前年同期比増減率。

* 金額の欄には、一時払契約は一時払保険料を、その他は1年分の保険料に相当する金額を記載しています。

			2010年3月期	2011年3月期
一時払終身	新契約件数	(件)	- (-)	- (-)
	金額(収入保険料)	(百万円)	- (-)	- (-)
一時払養老	新契約件数	(件)	4 (-)	24 (500.0%)
	金額(収入保険料)	(百万円)	15 (-)	66 (329.6%)

* ()内は前年同期比増減率。

* 金額の欄には、一時払契約は一時払保険料を、その他は1年分の保険料に相当する金額を記載しています。

< 全面解禁商品 >			2010年3月期	2011年3月期
一時払商品	新契約件数	(件)	57 (-)	165 (189.5%)
	金額(収入保険料)	(百万円)	169 (-)	455 (169.8%)
平準払商品	新契約件数	(件)	936 (23,300.0%)	2,103 (124.7%)
	金額(収入保険料)	(百万円)	146 (633.5%)	387 (164.7%)

* ()内は前年同期比増減率。

* 金額の欄には、一時払契約は一時払保険料を、その他は1年分の保険料に相当する金額を記載しています。

* 2011年3月期の新契約は、総合医療保険・積立利率変動型終身保険・5年ごと利差配当付学資保険・5年ごと利差配当付終身介護保障保険等。

その他質問項目(2011年3月期)

東日本大震災に関する保険金・給付金等支払額見込み

保険金・給付金等支払額見込み	約59億円
----------------	-------

東日本大震災に関する対応

< 当社の主な対応 >

災害死亡保険金等の全額支払い
 保険料払込猶予期間を最長平成23年12月末まで延長
 保険金・給付金・契約者貸付等の簡易迅速な支払い
 新規の契約者貸付に対して、特別金利を適用(利息の減免)
 入院治療に関する特別取扱(みなし入院の取扱い)を実施
 物的支援として、水・食料・衣類等を送付
 人的支援として、被災された方々の支援を目的に社員によるボランティア活動を実施
 義援金として、日本赤十字社へ1億円を寄贈
 お見舞いおよび、お問い合わせ先を告知するために、新聞・テレビ・ラジオ等で広告を実施
 被災地域の沿岸部にお住まいのお客さま宛に「保障内容のお知らせ」と「特別取扱のお知らせ」、沿岸部以外にお住まいのお客さま宛に「特別取扱のお知らせ」を郵送し、返送いただいたお問い合わせ・ご要望事項に関する対応を実施
 被災されたお客さまに対して、営業担当者のお見舞い訪問を推進
 被災地域のお客さまの状況を一元管理するために、データベースを構築
 公開されている情報をデータベースに取り込み、お客さまに必要な手続きを案内
 被災地域のお客さまへの安否確認コールを実施

「不払い問題」に対する主な再発防止策(カッコ内はその金額)

再発防止策のうち、主な取り組み内容は以下のとおりです。

- ・支払査定業務に関する業務フローを抜本的に改善するための大規模システム開発
 - 「業務フローの大幅な改訂」「請求書類等の入力精度の大幅な向上等、業務精度の向上」を実現するシステム開発を完了し、2008年4月より稼働(約10億)
 - 「お支払い時の情報提供のさらなる充実」「業務のさらなる効率化」を目標とした大規模なシステム開発について2009年1月に完了し、このシステムを使用した保険金等支払い業務を開始。(約17億)
- ・新卒者入社時研修における教育の強化(2010年5月より開始)
 - 新卒者に対し保険金部での支払実務研修を実施。保険会社における保険金等支払い業務の重要性への意識向上を図る。
 - 将来の支払い査定担当者の育成・確保により、支払い業務の基盤強化を図る。

変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2010年3月期	2010年9月期	2011年3月期
変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	7	41	50

戻入額についてはマイナスで表示